

2005年昆明美術交流報告書

2005年9月24日

湘南日本中国友好協会理事長 春名康夫

日程 ; 2005年9月11日~22日

行き先 ; 中国雲南省昆明市を中心に元陽、麗江方面(詳細別紙)

参加者 ; 美術交流6名(他、中国教育支援3名、聶耳音楽週、2名同行)(氏名詳細別紙)

初日9月11日から台風の上海襲来で波乱の訪中の始まりとなりました。各方面の方々にご心配とご支援をいただき御礼申し上げます。

二日間上海に足止めとなり13日ようやく昆明に到着となりましたが、美術交流においては当初予定の活動を取り戻し参加者皆さんに満足いただけたものと思います。ただし、中国教育支援の照井さんのグループと聶耳音楽週参加の斉藤先生ご夫妻には最大の目的の聶耳墓参拝・開幕式に間に合わず大変残念でした。13日昆明到着後直ちに聶麗花さんのご案内で聶耳先生墓参拝はさせていただきました。

今回の交流では胡曉幸先生はじめ浅川先生、昆明市外弁廠件文主任、劉友誼館館長、鈴木三枝子先生、旅行社伍金貴先生他多くの方々にお世話いただきました。本美術交流がなんとか無事完了できましたのも皆様のおかげとあらためて御礼申し上げます。以下に'05昆明美術交流の報告をいたします。



雲南省元陽市 主魯小学校全校生徒と記念写真

【9月11日(日)】 出発

自宅出発(9:45) 羽田着(11:15) 総勢11名。全日本中国旅行社山崎きみ子さんお世話。宅急便段ボール9個受け取り、チェックイン、35KGオーバー(9万円)とのことで2箱下ろし小松副会長宅へ返送する。(山崎きみ子さん代行依頼)

羽田発(13:00)ほぼ予定どおり出発、関西空港着、チェックイン後昼食(お好み焼きで旅行の成功を祈って乾杯) 出国手続き後お土産のお酒4本、チョコレート等免税店で購入、出発カウンターへ。ここからがトラブルの始まりで16:40発が台風の影響で遅れるとのアナウンスあり、結局1時間半ほど遅れで登場開始上海へ向けて出発。(18:20)機内は予想に反して満席。(19:00発の便は欠航のためその乗客が多数搭乗したとの未確認情報あり)とにかく一安心。

上海着(19:30現地時間)暴風雨の中バスに乗り空港内へ、昆明乗り継ぎ客案内あり、入国手続き。(昆明乗り継ぎ客総勢32名)その後MU係員から昆明行きの中止の連絡あり。荷物を引き取り明日のチケット予約の手続き場所へ移動の引率。右へ左へと移動の変更あり、照井さんの車椅子要求するが無し。ようやくチケット予約カウンターが判り行列に並ぶが大混乱しており喧嘩も発生している。長時間かけて手続きを開始したがすでに明日の便は満席の回答。乗客の不満爆発、收拾つかない状況だが無いものは仕方が無いのであさっての便で決める。その後あさっての便は朝8時と午後2時の便があるが朝8時便も20席しかないとのこと。乗客で相談して決めてほしいとの要求で相談するが私たちを含めて23名あり、乗客のリーダーを引き受けていただいた京都大学稲村助教授から11名の我々団体が降りていただければ個人の乗客は出来るだけ朝8時の便に乗れるとの相談有り。しかたなく承諾の返事の直後25名確保の連絡。やっとのことで朝8時の便の予約が出来た。発券処理をしているとホテルへ行くのが遅くなるので予約証明書のみで全員ホテルへ。

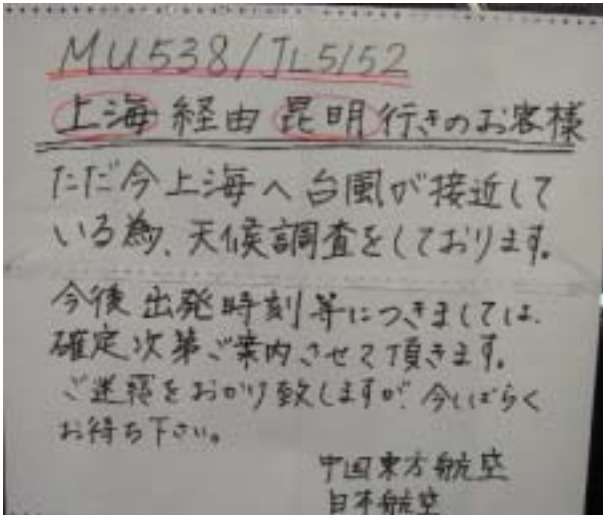
先に午後2時の便の乗客をホテルへ、続いて朝8時の便の我々もホテルへ到着。すでに23:00を過ぎていた。急いで昆明の廠主任へ連絡、昆明では飛行機が中止になったことは把握しておりホテルはキャンセルしたとのこと、詳細連絡を明朝する事とし、夕食のカップラーメンをもらって部屋へ入る。(24:00)日本の自宅へ連絡する。台風は上海へまっすぐ向かっているとのこと。風雨ますます強くなって来た。ぐったり疲れが出てみんなからビールを飲みたいとのことでカウンターへ要求。バーの従業員が起きていたので売ってもらう。ハイネケン小瓶が38元と日本より高いが仕方なく4本購入。午前3時ようやく就寝につく。大混乱の旅の始まりとなりました。照井さんには足の不自由なところご苦労様でした。



羽田空港で山崎きみ子さんの援助で手続き

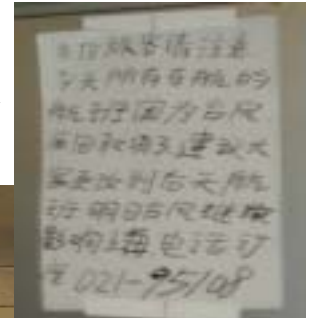


さあ関西空港へ向けて出発 ここまでは順調



関西空港でいきなりの張り紙

どうにか上海まで来たのもつかの間、欠航の張り紙。混乱の手続き。



【9月12日(月)】突然の上海見物

7:00起床。台風は午前五時頃上海を通過した模様でまだ風雨強し。小松さんへ電話し状況報告。胡さんへ電話し日程の変更を依頼。午前中に返事をするとのこと。李さん、陳さんに電話、天天が出る。北京へ出かけており昨日帰る予定が台風で帰っていないとのこと連絡を依頼。結局今日の飛行機も満員で夜行列車に切り替えたと陳さんからの電話有り。残念。午前中は天気悪く稲村助教授と連絡するも今日の便の空席連絡は無いとのこと。今日は無理との連絡有り。浅川先生、鈴木先生へ電話、授業中。胡さんから日程1日順延すべて手配OKの電話あり。安心する。稲村助教授より11時15分から昼食の連絡有り。団体客有り我々無賃食事はその前に取れとのことらしい。

昼食の頃から天候回復、上海見物を提案。初めて上海に来た人も多くみんな大賛成。齊藤ご夫妻を誘って8名で出かける。照井さん達はゆっくり休みますとのこと。タクシー2台に分乗し外灘へ。他の乗客も来ておりあいさつ。雲南大学日本語科先生の奥様とお子さんとのこと。鈴木先生のことをお話しする。渡し舟で対岸に渡り東方明珠へ。タクシーで南京路へ移動、町を散策しお酒とつまみを調達、夜に備える。



午後、天候回復で上海見物へ繰り出す
南京路で早速のスケッチ(藤井さん)



【9月13日(火) 聶耳先生墓参拝

早朝5時モーニングコール、朝食後6時ホテル出発、紅橋空港6時50分着、発券手続きをするが連絡を受けていないとのこと、稲村助教授と必死に説明ようやく発券、チェックイン。すでに時間が迫っており急がされる。突然お酒はだめとわかり託送へ切り替えも時間切れ、結局全員没収される。空港側の責任で乗継が変更になったのであり空港の責任で昆明へ運ぶべきと主張するが規則の一点張りで交渉決裂。預り証も全員で1枚しかなし、稲村助教授へ託す。われわれも蔵さんや伍さんのお酒4本没収される結果となった。

8時過ぎ飛び立つ。11時ようやく二日遅れて到着。劉さん、胡さん、ひまわりちゃん出迎え。最後にチェックインした私のトランクのみ不明。所在不明のため手続きしとりあえず茶花賓館へ向かう。途中で電話が入り1時間後の便で届いたとのこと。空港へ引き返し受け取り。トラブル続きであったが茶花賓館12時半到着、チェックインする。

胡さんと部屋へ入り展覧会の清算、お土産等手渡し明日からの手配を打ち合わせ。劉さんが来られお土産手渡し、17日からのデッサン等依頼。午後2時茶花賓館出発、聶麗花さんを迎えに立ち寄り西山へ聶耳先生墓参拝に行く。付近は記念館を含めて修理されており昨年からかなりきれいになった。墓参後若者のみ龍門ヘリフトで出かける。

午後6時半茶花賓館帰着、午後7時より劉さんのご案内で雲南人家へ出かける。昨年デッサンのモデルさん、老板歓迎あり。持参の絵他の写真を渡す。21:00茶花賓館帰着、小松さん、鈴木老師へ電話。PC取り込み等整理し12:00就寝。



中国国歌の合唱を奉納(斉藤夫人)



聶耳先生墓参拝



雲南人家でモデルさんと再会



中国のお茶をごちそう



龍門見物

【9月14日(水)】 八二族村スケッチ旅行

5:00 起床、記録整理、6:30 モーニングコール。7:00 朝食。8:00 茶花賓館出発。玉溪經由建水で昼食。团山地区の古い町を見学、スケッチ。車のドア修理まで团山見学。2時間ばかり予定が送れ元陽には午後7時となり市書記訪問は取りやめホテル(雲梯大酒店)へ。8時夕食、PC取り込み等でこの日も12:00 就寝。



团山地区の古い民家を見学スケッチ

【9月15日(木)】 八二族村スケッチ旅行

5:50 モーニングコール、6時20分弁当持参で朝日の見える棚田へ出発。霧があり今ひとつ山が部分的にしか見られず。日本からのカメラマンが多く来ている。春には1000人以上のカメラが林立したとのこと。今日は50名位来ている。

八二族村見学。子供たちに色鉛筆をプレゼント。小学校前では30名くらい集まり用意した色鉛筆の本日はすべてなくなる。昼食は水上レストラン。マイクロバスのタイヤがバンク。そのうち交換のタイヤも不調で修理店へ行く。2時間ばかり周辺スケッチ。天候も悪く切り上げてホテルへ。明日も朝日見物を再度チャレンジすることとし、早めに寝ることとしたが酒盛りは毎晩のこと、11:00 就寝。



棚田の朝日スケッチ



広川さん似顔絵をプレゼント



八二族村訪問・スケッチ



【9月16日(金)】 八二族村スケッチ旅行

5:30 モーニングコール。まだ真っ暗で満天の星を観賞。期待が持てる。しかし、山の天気はどんどん変わり少し霧の状態が残念。カメラの人たちは一週間滞在して撮影するとのこと。しかたがないか。

ホテルの従業員の村を訪問することとして案内をお願いし勝村郷へ出かける。車の入れる道は荒れており通れないため山道を歩いて片道1時間、谷の奥へ進む。村の人たちがたくさん登ってくる。今日は市場があるとのこと。市場へ向かう人たちがらしい。

村の中心に主魯小学校があり前日連絡したとのことで校長先生はじめ生徒の出迎えを受ける。先生方は正装されており感激。校長先生の説明を受け各教室の子供たちに色鉛筆を配る。1年生から5年生まで177名とのこと。1年生はまだ普通語は理解できないそうで八二語であいさつあり。この村に日本人は初めてとのこと、外国人も初めてと話しておられたようです。記念写真をとることになり全校生徒がグラウンドに整列して撮影した。

案内のホテルの従業員芦さんのお家に来てほしいとのことでお伺いする。お母さんがもち米のご飯を用意してもてなしを受ける。しばらく付近をスケッチし先生方にお別れし元来た道を今度は登る。学校を見下ろす高台まで来て小学校を見るとみんなこちらに手を振っている。こちらも再見の言葉を大声で叫び手を振って別れる。

1時間、汗だくで元の通りまで戻ると市場が大賑わいとなっていた。1時間ばかり自由に見物しホテルへ戻って昼食。2:45 昆明へ向けて出発。途中通海で夕食。レストランの小姐が外国人は珍しいのでサインを依頼して来た。藤井さんが似顔絵を描いてあげみんなサインをする。店の老板が出てきて日本人は初めてだと感激、書道をしていると本をプレゼントあり。浅川先生よりひまわりちゃんの携帯へ電話有り、明日の予定を打ち合わせした。10:30 茶花賓館帰着。PC取り込み等でこの日は午前様の12:30 就寝。



棚田と緑の美しい主魯小学校訪問、色鉛筆他をプレゼント



勝村郷の遠望



色鉛筆を配って子供たちと交流

【9月17日(土)】 デッサン会

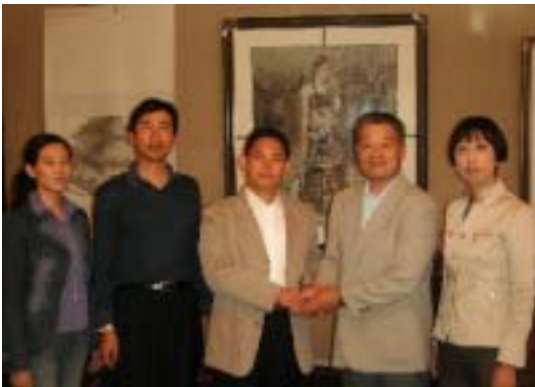
8:30 茶花賓館出発。8:40 友誼館着、デッサンの準備。モデルさんが一人遅れ 9:20 デッサン開始。浅川先生の奥様、中国の画家、胡先生と総勢9名。男性モデルは昨年と同じ青年、前半は男女モデルペアのポーズ、後半は男女別々にする。女性モデルを描きたい人が多い。お土産が一部上海で没収されたためモデルさんにはチップ(50元/人)とした。終了後記念写真。

ひまわりちゃんに依頼し私以外は石林スケッチに出かける。タクシー2台チャーターする。(1台はひまわりちゃんの彼氏が引き受けてくれたらしい。) 12:00 鈴木先生と浅川先生ご夫妻と昼食。土砂降りの雨。昼食後日中文化交流センターの打ち合わせする。会計は鈴木先生に決定。14:00 蔵主任も見え日中文化交流センター(蔵主任より名称は「日中文化交流資料室」との提案あり)の開所を11月5日(友好24周年)とする等決定。蔵さんにお土産、小松さんの依頼品、小学校奨励金等渡す。

15:00~16:00 聶耳音楽祭を見物、16:30 茶花賓館帰着。小松さんへ電話(不在) 伍さんへ電話、明日友誼館で打ち合わせを約束する。19:00 集合で来日の張さん、呉さん、菊ちゃん、楊さんたちの配慮で歓迎交流会に行く。浅川先生ご夫妻、斉藤先生ご夫妻、鈴木先生、通訳2名も参加、17名とにぎやかな交流会となりました。(支払いは日本側) 22:00 茶花賓館帰着。小松さんへ電話、報告し、今日も12時就寝。



デッサン会後モデルさんを囲んで記念撮影



日中文化交流資料室の
締結後蔵主任と握手

日中文化交流資料室の日本
から持ち込んだ図書を整理



日本語クラスの人達との交流宴会



「聶耳の魂」民族音楽会

【9月18日(日)】 中秋節 デッサン会

6:30 齊藤先生ご夫妻見送り、8:30 茶花賓館出発。8:40 友誼館着。今日は予定通り9:00~11:30 デッサンの勉強。モデルさんの女性は昨年と同じモデルさん、かわいい子でみんな大喜び、終了後の記念写真はみんな一緒に撮っていました。

12:00 胡さんに過橋麵のお店へ連れて行ってもらう。2:00 からは自由行動とし、胡さん、劉さん、鈴木先生と来年の芸術交流展覧会の下見で昆明博物館、雲南省博物館、画材店と工場を見学。

17:30~19:30 胡さん招待の夕食会。胡さんの奥様、胡さんの先生と言う王老師と奥様、お孫さんも参加、鈴木先生の通訳でにぎやかに過ごしました。

20:00 からは友誼館で市外弁の廠主任、劉さん2~3名と中秋節のお祝いをする。あいにくの雨曇りで期待していなかったが9時頃突然月が顔を出した。わずか3分間位でその後はまったく顔を見せず。22:00 茶花賓館帰着。PC取り込み、広川さんと胡さんへ差し上げるCDコピー、この日は午前様の12:10 就寝。

昨年と同じモデルさんが来てくれたデッサン会2日目



来年友好都市締結25周年の美術展覧会企画検討で昆明市博物館、雲南省博物館、額縁店・工場を調査する。





胡さん主催歓迎夕食会



外弁主催の中秋節のお祝い・友誼館



中秋節の満月

【9月19日(月)】麗江スケッチ旅行

5:00 モーニングコール。6:00 伍さんの出迎えを受け茶花賓館出発。7:20 昆明発、8:20 麗江着。現地案内麗江中国国際旅行社の白さんの出迎え。ホテル(観光大酒店)へ行き朝食。

9:00 ホテル出発東河村へ。この日は自由行動を多くしてスケッチをする。12:00 ホテル帰着し昼食。13:00 出発、玉龍雪山へ向かう。リフト小雨、霧で山頂は見えず。氷河見物は中止しホテル帰着。麗江古城へ行きキノコ鍋で夕食。20:00~21:00 納西族古楽観賞。麗江古城の夜景見物後 22:00 ホテル帰着。



麗江・東河村ヘスケッチ



玉龍雪山はあいにくの天候



夜は納西族古楽観賞

【9月20日(火)】 麗江スケッチ旅行

7:00 モーニングコール。7:30 朝食、食堂で初鹿野恵蘭さんと出版社社長さんにばったりであう。伍さんに会いたいとの事で8:30 ロビーで会うことを約束。

8:30 出発、長江第一湾を見学。お昼前に途中昼食、虎跳峡へ行く。徒歩40分近く歩いて虎跳峡へ。帰りは自由にスケッチをしながらバスへ帰着。途中スケッチをしたり写真休憩を取りながら麗江へ帰着。黒龍潭公園見学後18:30~ホテルで夕食。伍さんと初鹿野恵蘭さんの部屋を訪問。談笑。



長江第一湾



長江・虎跳峡



黒龍潭公園

【9月21日(水)】 麗江スケッチ旅行

6:00 モーニングコール。6:30 朝食、早朝の麗江古城のスケッチへ向かう。とりあえず麗江古城を見下ろす高台に登る。突然玉龍雪山の山頂が見えてきた。11:00 集合でその後は自由行動としスケッチをする。11:30~昼食、13:00 頃飛行場着。チェックイン。待合室で再度初鹿野恵蘭さん一行と出会う。

14:20 麗江離陸、15:20 昆明着、15:40 茶花賓館帰着。巖さん、胡さんが茶花賓館へ来られ小松さんへの托送品等受け取る。18:00 出発で伍さん主催の送別会に行く。胡さん、劉さん、鈴木先生参加。21:30 茶花賓館帰着。菊ちゃんが来ており松本先生他への月餅等預かる。PC取り込み等でこの日も午前様の12過ぎ就寝。



麗江古城を見下ろす高台でスケッチの広川さん



市場にはマツタケもたくさん並ぶ



伍さん主催のお別れ
夕食会

【9月22日(木)】 帰国

5:00 起床、荷物整理、 6:00 モーニングコール。チェックアウト後ロビーで弁当。7:00 劉さん迎えあり。健ちゃんカメラ忘れてサービス室手続き。急いで昆明空港へ。7:25 昆明空港着。搭乗手続き。昆明空港は大雨となったが無事8:40 離陸。帰りはほぼ時刻どおりの時間で関西空港経由羽田空港帰着。もうトラブルは無いと思っていたが関西空港で藤井さんの荷物にライターの反応有り、なかなか見つからず取り出しに長時間かかる。羽田着18:30。自宅着20:00。小松さんへ報告電話。【おまけ:関西空港で預けた荷物が9/23 午前中に届いたが1個のみで2個目はまたまた1時間遅れ、最後のトラブルでした。】

【美術交流参加者の感想】

<永遠の若者、酒豪の 中島清登さん>

初めての中国。旅行前は元陽の棚田、麗江の街並みなどに期待。一方、食事は食べられるだろうか、会話はどうかと不安もあった。しかし、出た食事は一通り食べられたし、会話の通訳はひまわりちゃん、白さん、春名さんのおかげでOK。<体重はおそらく(4~5Kg 増えたでしょう。)>

昆明の方々や胡先生に大変親切にいただき、楽しい12日間でした。

元陽の棚田、八二族村小学校訪問

麗江の古い街並

玉龍雪山が見られたこと

などなどスケッチ、撮影と多くの取材ができ、今後数年間分の油絵が描けると思います。

この旅行を企画、準備、手続きなどをしていただいた方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。



<どこでも頑張り屋の 広川英夫さん>

日中友好 ; 良かった

デッサン会 ; 大変良いデッサン会だった

春名さん含め中国の関係者に多謝。

スケッチ(元陽)最高の良い思い出となる。

胡さん、ひまわりさんに多謝。

八二族村の訪問(小学校)、市場、棚田、すべて良かった。

スケッチ(麗江)

スケッチ時間が短かった。

出来れば時間の配分(スケジュール)を明確にしてほしかった。

地図、案内のパンフレットを事前にほしかった。

予算不明瞭(明細も不明瞭)

食事 ; 毎回同じ食事で飽きた

総括; 大変良い旅行だった。われわれの旅行もニエアルが縁を持ってくれた。多謝。



<イ族のおじさんから魯迅先生、トンパ先生まで 幅広い活躍の 藤井満雄さん>

台風のため思いがけなく上海見物が出来、絵何枚かスケッチが出来よかったと思います。

9/13 昆明到着、ニエアル記念館&墓参が出来、龍門よりの展望がすばらしく思います。

9/14 建水、午前の古い家。生活風景。もう少し時間がほしいと思った。

！ 日の出、夕日、棚田スケッチが出来、尚天気がよければ！！
！ 再度日の出を見に行く。八二族村の生活風景を描く。

9/16 八二族小学校の訪問は大変感激致しました。昆明へ。

9/17 デッサン教室 午前中。 午後より石林見学。

9/18 デッサン教室 午前中。 午後より市内見学。

9/19 麗江、村をスケッチ。 玉龍雪山スケッチ。

！ 石鼓、長江上流、虎跳峡スケッチ。虎跳峡での時間が欲しいと思う。

9/21 古城でのスケッチは大変良かったと思います。

全般を通して忙しい旅であったと思います。もっと時間があればと思いましたが大変有意義な日々でした。ありがとうございました。



<唯一の若手、電話魔の 玉栄 健さん>

今回の中国旅行は台風など、色々なトラブルがあったが、私にとって意義ある旅行でした！ 中国と日本との常識の違いや人柄、環境、様々なギャップはあったが、実際に中国に行かなければ経験できない事だらけでした。

また、スケッチ旅行という事で、多忙なスケジュールの中作品の数は少ないが、一緒に旅行した先生方の技術も学べ、自然を感じ、少数民族の人達とふれあいても楽しい経験になりました。

春名さんをはじめ、皆さんほんとうにありがとうございました。



<写真撮影でカメラを肩に飛び回った 森 睦夫さん>

自然の力にはさからえず旅のスタートは大変な思いを致しました。皆様の協力で2日遅れの昆明入りとなり、胡先生始め現地の方々の温かい出迎えを受けた時はホッと致しました。

公式行事に参加出来なかったのは残念でしたが友好協会の方々の案内で聶耳先生の墓前で手を合わせる事が出来、周辺を観光致しました。

私が希望していた元陽の棚田見学は、霧がただよう風景でしたが、途中車窓から見える棚田風景もすばらしく、スケー



ルの大きさに感動しました。ホテルのスタッフの案内で主魯小学校を訪問し、校長先生、他多勢の出迎えを受け、色鉛筆を全校生徒に手渡し、校庭で全員の写真撮影が出来た事は大きな喜びでした。胡先生他皆様のおかげと思います。

以上は初めての旅でしたが麗江は二度目の訪問でした。違ったメンバーとの旅で感じも異なりました。物価が値上がりし、古城内も手が加わり、以前の古びた感が減少し、商業主義になった様に見えました。伍先生も大変親切な、知識を広く持っている方でした。われわれのリーダー春名様に大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

< '05 美術交流を振り返って 春名康夫 >

帰国の翌日23日には画廊で小松さんと合い、お土産と報告をし、ようやく肩の荷が下りた感じです。通常は毎日7時間寝る習慣ですが、突然の団長とのことで報告やら、連絡やら、次の予定で毎日5時間を切る状態でした。昨夜はやっと9時間ほとんど気がつかない感じで熟睡しました。例年の小松さんのご苦労を知った訪中でした。

台風の上海襲来で大混乱の状況となりましたが11名の団体の私たちは全員一緒に行動するしかありませんので成り行きでした。照井さん一行と齊藤先生には聶耳墓参拝・開幕式に参加出来ず本当に残念でした。

それにしても中国東方航空の対応の悪さと処置の仕方は立腹します。足の悪い乗客が居ることは知っていても車椅子の手配無く、右往左往させ、正確な情報も無く長時間費やしてしまっただけ。そんな中で32名の昆明行きの乗客のリーダーを引き受けていただいた京都大学稲村助教授の処置には見習うものがあり感服致しました。怒鳴りたてていた乗客の多くの方々は見習って欲しいと思います。

いずれにしても、美術交流は以降の予定を調整し、若干強行軍の予定となりましたが当初予定のスケッチポイントをご案内できました。上海見物がプラスされましたのでご容赦いただきたい。2日遅れの昆明入りでしたので致し方ないと考えます。

八二族村スケッチは棚田と八二族村訪問交流が目的でした。棚田は黄色に実った稲田が美しく期待以上でした。霧の多さは山の天気ですので仕方ありません。それを克服するには写真撮影のグループと同様に1週間位滞在が必要でしょう。八二族村は最後の勝村郷主魯小学校訪問は観光客のまったく行かない所ですばらしい所でした。同行者全員が感動を受けました。健ちゃんのお母さんから託された文房具を子供たちに渡しましたが喜んでいただいていたので本当に良かったです。美津子さんありがとう。

デッサン会は昨年と同様に雲南人家からモデルに来ていただき、昨年のモデルさんもあり再開を喜びあいました。友誼館のロビーが広がったので自由に移動出来、いっぱい描けたようです。美しい民族衣装に満足のデッサン会となりました。

麗江はベテランの伍さんの案内と、現地案内はかわいい白さんの案内で良かったです。伍さんはスケッチの団体の案内は始めてだったようで時間の取り方が分からなかったとのこと、私の説明とみんなの描きたいところが分かってようやく理解できたと話していました。先に全体の説明をして、後は集合場所と時間を設定して自由行動が必要です。

今回も小松さんはじめ昆明の多くの方々にお世話になりました。現地に鈴木先生がいらっしゃるのもこれから心強いですね。来年の25周年に向けて今後も宜しく願いいたします。 以上

